

## 2020. 10. 11 「聖書預言・アップデート/入会の儀式」

<https://www.youtube.com/watch?v=gAfqgo2ns8s>

『入会の儀式』おはようございます。日曜日朝の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があります。第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」です。第二礼拝は、午前11時15分からで、聖書を通し、節ごとに学ぶ、「聖書の学び」です。現在、第一テモテを学んでおり、今日は6章です。第二礼拝も、是非ご参加いただきたいと思います。今日は、仕事、財産、金銭に関する核心に迫ります。それがハワイ時間の11時15分からです。また、新しい預言サイト「jdfarag.org」の立ち上げが間近に迫っていることをお知らせしたいと思います。まだの方は、是非登録されることをお勧めします。登録方法は、この動画の下の概要欄にリンクがあります。そのリンクをクリックし、メールアドレスをご入力ください。そうすると登録完了となり、サイトが開始され次第、通知を受け取れるようになります。もしまだの方は、是非そうされることをお勧めします。さて、今日は取り組むことがたくさんあるので早速本題に入ります。今日のアップデートで、共有したいのは、私が、調べてみてわかったことです。今回のリサーチは約2ヶ月かかり、かなり広範囲です。COVID-19/コロナウイルス規制に関することです。つまり、マスク着用、社会的距離保持、手洗いに関する規制です。これらは、「入会の儀式」に関係しています。比較的強烈な内容であることを、先に警告しておくべきでしょう。決して、マスクをされている方を軽蔑しているわけではないことをご理解いただければと思います。外へ出る時は、私自身必ずマスクを着用します。元々私はあまり外出はしない方で、特に今は、余計に外へ出ることは滅多にありませんが。でもその時には、喘息持ちですがマスクを着用します。長くは着けていられません。恐らく10分ほどで、上気道になってしまうからです。でも私はマスクをします。その理由はここにあります。第一に、誰にも迷惑をかけたくないからです。人々は、既に大変な思いをしているのですから。一日中マスクをしなければならぬ人を、大変気の毒に思います。就業中、数回休憩はあるでしょうが、彼らは一日8時間も、マスク着用しなければならぬのです。なぜ私は、彼らを困らせる必要があるのでしょうか？そして、もし私が彼らを困らせたとしたら、一体私がどうして彼らをイエスに近づけることができるのでしょうか？だから私は、実はマスクを使って、彼らの注意を引いているのです。ちょっとした楽しみがあります。皆さんまず、誰かに微笑みかけるということができないことにお気づきでしたか？目を使って、大げさにしなければならぬのです。こんな感じで、、、彼らは、あなたの笑顔が見えないからです。皆さんの息の匂いも嗅げません。ブレスミント代の節約にはなりました。しかし…この事は後で話しますが、私は時々彼らにこう聞くのです。「こんな状況ですが、どうされていますか？」ほぼ確実に、例外なく、彼らは、親切に対応してくれます。「あなたは本当に…さっきのお客様とは、違いますね。」「あの方々には、大変な思いをさせられました。」これでもかと、いわんばかりに。だから私は時々、列に並んでいるので…レストランで座っているわけではないので…私はもうレストランには行っていません。皆さんは、どうなのか存じませんが、今行くと、接触追跡のため、自分の全情報を教えなければなりません。住所、電話番号、社会保障番号、そして既に把握しているであろうビザカード情報などです。ですから、私は列に並んでいるので、自分の後ろには人々がいます。このようなことを言うてみるのです。実際、ちょうど先週、とてもパワフルなことがありました。そしてそれは、ある一個人に大きな影響を与えました。彼女は、今にも泣きだしそうでした。彼女の目には、涙が溢れていました。私がしたのは、これだけです。ただこう言ったのです。「あなたの為に祈ります。祝福ある一日を過ごせますように。」と。それが全てを変えました。だから私は、マスクをするのです。私は、まだ時間があるうちに日々、あらゆる人々をイエスに近づけたいのです。もうあまり時間は残されていません。なぜ私がこんな話をしているのか、あるいは、なぜ私がこの話を今しているのかと思われている方々。その理由は、私のすべき事が来たるべきことに対し、人々をしっかり備える為です。そしてその時は近づいています。実は、来たるべき事こそ、誰が来られるかを、指し示しています。誰が来られるかという、それはイエスです。そして、差し迫った教会の携挙です。このよ

うに言わせてください。今、起こっていることすべて見ていると、それは何が起ころうとしているかを示していて、また、教会携挙での主の再臨までの速さ… — 他に良い言葉が見つかりませんが、好まれるなら、間近さと言います — を示しています。こう描写します。これらの「入会の儀式」は、路上の標識のようなものです。皆さんに、目的地と目的地までの距離を指し示しています。しかし、最終目的地までの距離は同じでも、目的地自体は、違います。ひとは救われ、ひとは失われるのです。考えてみれば、誰もが この2つの分類のどちらかに入るのです。救われているか、失われているかのどちらかです。事実、正しい方向を指し示す標識に従わないと、迷ってしまいますね？ それがここで起きていることです。標識があちこちにあります。そして、失われた人は…彼らの運命は、彼らの目的地である 7年間の患難時代であり、そして、永遠の罰則を受けることとなります。しかし、救われた人々は、7年間の祝宴と永遠の救いが目的地です。私の願い、そして私の祈りは、、、私はこのことに関し、かなりの時間をかけて 主を求めました。その理由は明らかだと思います。そして、御座に懇願したように、私がお願いするのは、今日、私は何らかの方法で皆さんに、 ”道であり、真理であり、命である” イエス・キリストを指し示すことです。なぜなら、すべてのものが起こる速さ同様、また あらゆることが向かっている方向で、言える事は一つ、イエスが戸口におられる事です。これが起きており、これが近いのであれば、それはイエスがより近いということだからです。なぜなら、携挙は、その前に起こるからです。それが、今日お話しする事です。取り組む前にもう一つ。7月26日、「マスク義務化」について、アップデートの時間を費やしました。皆さんに、その動画を参照頂きたいと思います。マスクの効果の無さを調べ、マスクの預言的意味についてを話しました。そのことについては今日話はしませんが、そのリンクと私が今日言及する他のすべての情報源は、その全てのリンクがこの動画の概要欄にありますので、ご覧いただけます。マスクから始めようと思っていますが、隔離（検疫）、社会的距離感、手洗いなども見ていきます。その理由は、これら全てが、日常生活や通常を変えることで 大衆を打破するという目的を持っているからです。これは、隔離、変容、改革という 三本柱のアプローチ方法で達成されます。それらを始めることで、かつては通常だったものが 取り去られています。無くなってしまいました。そして、”新しい通常”へと、再設定、再構築、再想像、再起動しています。実に、この”新しい通常”が、反キリストの支配下の 混沌からの秩序=新世界秩序 (NWO) です。フェイスマスクから始めましょう。

フェイスマスクは奴隷制度、沈黙、従属、服従の象徴です。イスラムでは、まさにこの理由で、女性は顔、そして頭まで覆います。「イスラム教徒の女性は黙っていること。」「彼女は話すべきではない。」「彼女は自分の男性に服従するのだ。」この男性は、基本的に彼女のご主人とみなされます。アメリカでは異質なことなのは分かっています。しかし、それが中東の現実です。1997年のことを、私は忘れられません。妻と私は、ヨルダンとエジプトに行きました。あれは、BCのことです。Before Christ=“紀元前/キリスト誕生前”ではありません。Before Child=“子供ができる前”です。空港で、エジプトからヨルダンへのフライトに 乗ろうとしていました。搭乗のため、座って待っていました。そこにいたのは、このイスラム教徒の女性たちで、頭の先から足の指先まで覆われていました。完全なまでの覆いです。それも黒の覆いです。この写真のような装飾的なものではありません。全てが覆われています。目さえも網目で覆われています。すべてが覆われているのです。そこにいるのは、エジプトの美しい女性たちです。神に似せて創造されました。そして、すべて覆われています。そして、彼女たちは話すことなどしません。彼女たちにできるのは、じっと見つめることだけ。彼女たちは実際そうしていました。彼女たちは私たちを見つめていました。私たちは彼女たちを見ないようにしましたが。それはとても悪魔的なものでした。それは大げさな話ではありません。それはとてもサタン的で、暗くて真っ黒なものでした。明確に感じる事ができるほどです。そして、彼女たちの目が、私たちを見ていたのです。「私たちが、場違い??」こちらが、私のアメリカ人の妻です。アメリカの女性です。彼女は、覆いを被っていません。はっとするほどゴージャスな妻です。そして私があります。でもそれはまた別の機会の、別のトピックにします。とにかく彼女たちは、 私たちをただじっと見つめていたのです。私は、とても可哀

想な気持ちになりました。しかし私は、中東の文化を知っているのだから、また確かに イスラム教が何を意味しているのかをよく分かっています。なので、理解できました。しかし、とても可哀想だと思いました。全部覆いつくされてしまいました。そして、重要な事は、身元が分からないのです。その話は、後でお話します。彼女たちは、神に似せて造られました。そして完全に被りつくし、覆われ、黒づくめです。もう一枚、写真をお見せしたいと思います。奴隷が、口封じされ沈黙させられる写真と、現在、マスクで顔を覆っている人たちの写真です。知らず知らずのうちに、顔を覆うことは、劇的に、時に無意識のうちに、人の振る舞いや行動を変えます。だからこそ、劇場俳優は、仮面（マスク）をつけるのです。それに関連しています。ブリタニカ百科事典によると、、、引用します。「マスクをつけている人は、マスクの霊力と直接関係していると考えられている。」「ある意味では、仮面と協力して、あるいは共同で演じている。」「マスクと衣装に覆われ演技をすると、俳優は本来の主体性を失う。」「そして新しい人間になったように感じる。」「マスクをつけると、着用者は時に超能力的変化を経験し、我を忘れ、マスクによって描かれた霊の性質に なり切ったと思ひ込む。」「しかし通常、マスク着用者は巧みに 自分がなりすましている性質のパートナーになり、自分の目から発する光によって 重要な活力の源をマスクに与えるだけではなく、自分の動きやポーズを通して マスクを活気づかせているのだ。」「しかし多くの場合、着用者は 自分が作り出そうとしているキャラクターと 心理的に一体化し、オートメーション（自動）化してしまうようだ。自分の意思なしに マスクの人格に従属するようになってしまう。」ブリタニカのあるページに、“マスクの機能と形態” という記述があります。以下引用です。「多くのマスクは、主に宗教的、社会的な意味を持つ儀式に関係している。あるいは葬儀の慣習、豊穡の儀式、病気の治療に 関係するものだ。その他、マスクは祝祭の場で使用されている。（例えば、マルディグラ）また、演劇芝居で登場人物を演じる場合や、神話的出来事の再演にも使用される。」こちらの写真は、オンラインメンバーから送られてきたものです。円陣を組んでの、サタン礼拝の儀式です。儀式用衣装や仮面（フェイスマスク）を 着用し参加しています。発散させる（Vent）ためのリサーチ...ではなく... 確かに発散させていますが...”綿密に調べる（Vet）”と言うつもりでした。信憑性を確認するためのリサーチです。“悪魔崇拝の認識”と題する、49ページのPDF ファイルを見つけました。ギャレン・W・ハースト博士とロバート・L・マーシュ氏が 国立刑事司法参照サービス（NCJRS）に発表しました。殺人事件の捜査における教育のための発表でした。被害者が、人間の生贄を伴うこともある 悪魔的儀式に参加していたかどうかを 特定する目的でした。甘く見ないでください。どうか、甘く見ないでください。34 ページの4番目の項目に書いてあることを引用します。「儀式用の服装を身にまとう時...」（例えば、儀式用衣装や仮面など）私たちが自問すべきことは、ウイルスからも守ってくれないのに なぜ仮面（マスク）をしなければならないのか？ と言うことです。繰り返しになりますが、私は決して マスクをしている人を中傷するつもりはありません。繰り返しますが、私は外出時にはマスクをします。しかし、実際のところは、これは、7月26日の預言アップ“マスク義務化”で指摘した事ですが、マスクは、私たちがウイルスから 守ってはくれません。「でもちょっと待ってください、牧師先生。手術室の医師は、マスクを着用しています。」はいそうです。理由をご存知ですか？ ところが無菌環境だからです。彼らは、自分を守るために マスクをつけているのではありません。手術をする患者を守るためです。もしかしたら、このミームが、それを考えるのに役立つかもしれません。特定の用途で使用されているマスクを示しています。火災、塗装、鉱業、農薬、放射能被曝など。なんだか滑稽だなと実感しました。しかし、フェイスマスクは、人類史上最悪と告げられているウイルスから 誰も守らないという事実が変わりはありません。フェイスマスクが、神にかたどって創造された 私たちのイメージを変えていると言う結論以外に 辿り着くのは難しいことでしょう。さらに、おそらくもっと重要なことがあります。マスクは象徴的に、そして儀式的にも、私たちが人間のしもべにします。神のしもべではありません。皆さんに注目いただきたいのは、聖書の最後の書簡、「ヨハネの黙示録」です。聖書の最後の書（黙示録）の、1章1節目と2節目です。ヨハネが書いています。1節、  
「イエス・キリストの黙示。神はすぐ起こるべきことをしもべたちに示すため、...（お聞きください。）

...これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これを“しもべ”ヨハネに告げられた。」

なぜ私は、これを強調して指摘するのでしょうか。なぜなら、新約聖書の原本が書かれたギリシャ語では、しもべは”デュロス(dulos)”だからです。デュロスは、『契約奴隷』という意味です。これは、出エジプト記 21 章にある『恩義奴隷』という考えと関連しています。晴れて自由の身となった奴隷が自分の意志で、主人の生涯奴隷になることを選択します。主人の人柄のゆえにです。つまり、その奴隷は義務を果たしました。借金は返済しました。もう自由の身です。聞き覚えがありますか？そして、奴隷たちは「お待ちください。」と言います。「私は、この主人を愛しています。ご主人を愛しています。」「ご主人は、私に親切にしてくださいました。私に寛大に接してください、愛情を注いでくださいました。離れたくありません。」「ここにいてもいいですか？」「構わないよ。」自分の意思でご主人のところに留まり、仕えることを決めた場合、その人は『契約奴隷』(デュロス)になります。それが、ヨハネとパウロ、そして彼らと一緒にいた他の人たちが言っていることです。「私は普通の奴隷ではない。」「自分の意志に反して、奴隷になることを強制されているわけではありません。」「そうではなく、私のご主人の奴隷になることを自ら選ぶのです。」皆さん、違いが分かりますか？反キリストは、人の意志に反して強制するのです。皆さんは、奴隷にされてしまいます。一方、イエス・キリストのもとでは、私たちは進んで、自由意志で選びます。私たちのご主人として、彼の“しもべ”になることを。これが社会的距離保持に繋がります。それに、隔離、ロックダウン(閉鎖)、および孤立を追加します。これらは全て、キリストの体の権利を剥奪するものです。言わば、機能不全に陥ります。説明しましょう。露骨に言うのをお許しいただきたいのですが、これは悪魔的です。教会という体から、イエスという頭を切り落としたという意味で悪魔的です。そして、さらに悪いことに、体の部位までバラバラにしています。お互いから切り離しています。あえて言うならば、教会の閉鎖は、キリストの体を切り離すことを目的とするサタンの攻撃の明確な証拠であり、反キリストの到来の先触れです。条件を整え、準備しているのです。こう言う事は決して大袈裟ではないと思います。隔離されること、あるいは独房に閉じ込められることが、一今がまさにその状況です。いかに精神的な拷問であり、身体的に有害であり、霊的に悪魔的であるかということです。お許しいただけるなら、その理由を説明したいと思います。なぜこれが非常に悪魔的であるかということについてです。「メディカルニューストゥデイ」からの引用です。一引用一「独房監禁は、心理的に悪影響を及ぼすことが多くの研究で明らかになっている。また、それを経験した個人に深刻な害を及ぼす危険性を増大させる。」The American Academy of Psychiatry & The Law(精神医学及び法律)の論文によると、「孤立は、肉体的拷問のような苦痛になり得る。」「人間は、社会的接触を必要とする。」それが人間の本質なんです。神はそのように私たちをお造りになったのです。触れ合って、抱き合って、キスをするとき、神に与えられた...何て言うんでしたっけ？化学物質という言葉は使いたくありません。化学物質でもいいですか？大丈夫ですか？ホルモン！それです。ありがとうございます。他にありますか？いいでしょう。ホルモン。もう一つは何でしたか？エンドルフィン！それを言おうと思ってました。先を越さないでください。エンドルフィンだけでなく、セロトニン。オキシトシン(ホルモン)。オキシコンチン(麻薬性鎮痛薬)と混同しないでください。全く別のものであります。これらは神が与えられたホルモンです。気分が良くなるホルモンです。少し前にシェアしました。実話です。1900年代初頭に、ある孤児院がありました。赤ちゃんたちが、次々と死んでいきました。人々は、その理由を理解することができませんでした。そこで彼らは、専門家を呼び、調査しました。そして、彼らが出した結論がこうです。赤ちゃんたちが死んでいく理由は、誰も、赤ちゃんたちに触れていなかったからです。赤ちゃんたちはただベビーベッドの中に放置され、誰も触れません。そこで彼らは、赤ちゃんを抱き始めました。愛情を注いで世話をし、キスをし、触り、腕に抱いてあやしたのです。赤ちゃんたちは、その後死ぬ事はありませんでした。それが理由です。誰かを誰かから切り離すとき、それはその人を殺しているのです。それは死です。悪魔的なものです。「時間が経つにつれ、一引用中一 隔離からのストレスで精神の健康を害す

ことがある。例えば、（沢山リストに挙がっています。）不安とストレス、抑うつと絶望、怒り、イライラ、敵意、パニック発作、暴力の暴発、精神病、死の恐怖、自傷行為または自殺などである。」なんということでしょうか。これが、まさに起きている事ではありませんか？ これは心理的な影響です。身体的なものはどうでしょうか？ 深刻な身体的影響にお気づきですか？ここにもリストがあります、身体的影響。一引用「慢性的な頭痛、視力低下、疲労感やだるさ、筋肉や関節痛、睡眠障害。」ついでに体重増加も追加しておきます。なんということでしょう。理解できません。日曜の朝、服の準備をします。私の全てのズボンやシャツが縮んでいるのです。洗濯のせいだと思います。まさか私であるはずがありません…とにかく、、、私の問題については十分です。「一引用中一 運動不足は、糖尿病、高血圧、心臓病などの 特定の健康状態の管理や予防が難しくなることもあり、日照不足が長引くと、ビタミンD 欠乏原因になり、 高齢者を骨折や転倒の危険にさらす可能性がある。これら怪我は、高齢者の入院・死亡原因の 代表的なものである。」ネット上で動画が流行っていて、、、洒落にならない言い方ですが、葬祭ディレクターが、父親の葬儀で母親を慰めるために、 母親のそばへ椅子を近づけた男性に勧告し、 葬儀を中断している様子が分かります。最初は、6 フィート離れて着席しています。それから二人の息子は椅子を移動させ、 母親の傍で慰めていました。三人目の男が椅子を近づけ始めると、 葬祭ディレクターが葬儀を中断します。強制的に男性たちを 母親から6 フィート離れたところに 戻させます。何が悲しいかというと彼らがこれに従ったことです。そして自分たちの母親を一人残して、離れていったのです。今、一緒に考えてみてください。彼らは、同じ車で葬儀式に行かなかったのでしょうか？ 凄く大きな車に違いありませんね。 車内で、6 フィート離れているのなら。私の、愚かさをお許してください。皆さんは納得できますか？ 一体何が起きているのでしょうか？ なぜ、6（フィート）なのでしょう。ふむ…この写真は、円形のフロア用マークです。そして、そこに、3つの6があります。これが全てを物語っていると思います。ここで尋ねたい質問は、なぜ5ではなく6フィートなのか、です。私は5が好きです。5は恵みの数字です。7は、もっと好きです。完成の数字です。でも違うのです。私は、このウイルスが何なのかわかりませんスマートフォン、スマートテレビなど、ありとあらゆるスマートなものがありますが、これは、スマートな（賢い）ウイルスに違いありません。5フィート11.5インチだと… おー！「感染させてやる！」6フィートだと？ 「あなたには届きません。」繰り返しになりますが、申し訳ありません 実は本当は、申し訳ないとは思っていません。全然悪いとは思っていません。これは馬鹿げています。これは狂気の沙汰です。…（拍手喝采）…なぜ、6（フィート）なのか分かりますか？ これが答えです。答えは、6が、人間の数字だからです。そして、666は、獣の数字です。それが人間の数字であることから、彼の数字は、666なのです。それが理由です。それが、黙示録13章18節です。「ヘブル人への手紙」10章をご覧ください。それには理由があって、聖書の中で、これを見ていただきたいのです。皆さんがこれを理解することはとても重要です。その理由はすぐにわかると思います。「ヘブル人への手紙」の書き手は、23節でこう言っています。「約束して下さった方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し続けようではありませんか。」「また、愛と善行を促すために、互いに注意を 払おうではありませんか。」無理です。なぜなら私は、社会的距離を保持しなければならず、孤立し、隔離された状態だからです。そして25節です。この一節を知っておられますね。「ある人たちの習慣に倣って 自分たちの集会 (assembling: キーワード) をやめたりせず、…集会 (assembling) をやめたりせず、むしろ励まし合いましょう。…そして、これを聞いてください。「ますます(今はなおさら) 励もうではありませんか。」なぜ今はなおさらなのでしょう？それは、「その日が近づいている事が 分かっているのですから。」言い換えれば？ 主が来られます。もし適切な時があるとすれば…つまり、お互いに励まし合い、互いに奮起し合い、愛を込めてお互いを思いやり、集会(assembling)をやめるべきではない時があるとすれば、それは今まさにこの時です。今まで以上にです。その日が近づいているのですから。”集会” (assembling)という言葉について話しましょう。これは流れを変えます。これは集まり (gathering) ではありません。”組み立て” (assembling) です。全ての様相を変えます。今までで聞いた最高の描写は、時計でした。実演しま

す。これは私の時計です。（時計を舐める—licking）タイムックスです。” Licking(ここでは『衝撃』という意味)を受けても 刻み続ける時計”です。若い方々には、分からないでしょう（笑）これは、タイムックスです。39.95 ドルで買いました。そうなんです。確かにLicking(ここでは『舐める』の意味)に強いです。先ほどのように、よく舐めています。（“Licking”の二つの意味を掛け合わせたジョーク）ではまず… 描写に戻ります。お戻りください。この時計の全ての複雑な部品を持ってきて、全部集めて(gather)、ここに置くとします。全部集めています。でも機能していません。組み立て(assemble)が必要です。そして、全部一緒に組み立てる(assemble)と？ おー！機能して、作動する時計になります。お分かりですか？ キリストの体は、組み立てられる(assemble)と機能するのです。そしてそこに問題があります。そう、地獄の門です。それをビル・ゲイツだと示唆する人もいます。知る由もありません。ビル・ゲイツが、イエスを必要としているのは分かります。それは、分かっています。いや、真剣に… ちなみに、少し話が脱線しますが、これについて考えてみてください。ビル・ゲイツは、最初のコンピュータウイルスを作り出しました。考えてみてください。彼らが話していることを知っていますか？ またその証拠もあります。このワクチンは、人体の操作システムのようなものであることです。あとは聖霊にお任せします。もし皆さんや私が悪魔だったら、理にかなっていないですか？ そうではないことを、神に感謝しますが。これはまさに、私たちがしたい事ではないでしょうか？ 体を切断し、剥奪し、バラバラにする。そうすれば、機能しません。その日が近づいている時です。私が、個人的に信じているのは、社会的距離を置くという旗印の下で、サタンは人々を遠ざけることに成功したので、人々は教会としての集会をやめるようになりました。そして、彼はそれなりの成功を収めています。それは、このバルナの調査報告書で証明されています。三人に一人のクリスチャンが、COVID-19/コロナウイルスにより、教会に通わなくなりました。引用します。これは胸が痛みます。「クリスチャンは、パンデミックの間、教会に完全に出席しなくなった可能性が高い。実際、教えを実践しているクリスチャンの32%が、、、 「口先だけのクリスチャン」ではないことに留意してください。教えを実行している（信仰を行動に移している）クリスチャンの話をしています。彼らはこの調査条件に敵うクリスチャンです。教えを実践しているクリスチャンが、まさにそうになっています。教会に通うのをやめたのです。これで説明がつくと思いますが、最近のクリスチャンポスト記事が、別のバルナの報告書を引用しています。これは、5軒に1軒の教会が、COVID-19が原因の閉鎖により、18ヶ月以内に、完全閉鎖に直面していることを示しています。一引用「5軒に1軒の割合で、教会が、コロナウイルスのパンデミックに起因する封鎖の結果、恒久的に閉鎖する可能性がある。著名なキリスト教研究機関バルナグループのデビッド・キンナマン社長が、このように述べた。」5軒に1軒の割合。20%。これは心が痛みます。昨日、思いがけず、フェイスブック上である投稿を見つけました。主の導きに違いありません。普段フェイスブックはしていませんから。でも、なんとなく開いてみたのです。そうして本当に良かったです。オンラインメンバーが投稿しているのは、アメリカンシンカーからの大変良い記事です。フェイ・ボシエルという人によって書かれ、タイトルは『COVID主義のカルトが教会に侵入した』です。ここにいくつか抜粋します。引用。「病気の収束と治療を目的とする、純粋で科学的な 反応であるべきだったものが、即座に、COVID主義という 政治的な宗教カルトへと発展。伝染性病原体 COVID-19 とは何かという、客観的な科学的分析及び対応は、多くの独断的な非宗教的な儀式によって、瞬く間にほとんど窒息死状態だ。劇的に変動し、クリスチャン的な儀式とは 正反対でさえもある儀式に対して 教会が服従している理由は、恐らく教会が、敵対する宗教の現れを 認識できなかったからかもしれない。新進の宗教的カルトが素早く優勢になったのは、COVID主義が科学に基づいていると 評判だからなのかもしれない。しかし実際は、これは科学的な根拠に聞こえるが 検証されていない仮定に基づいた 不確かな形而上学、また謎めいた儀式を 昇進させる科学宗教の派生であり、COVID主義が驚愕的に出現した結果、キリスト教会の核心的な教義が大きく損なわれ、COVID-19の儀式的浄化執行によって 置き換えられてさえている。ほとんど抵抗も、考えもせず、アメリカの教会を含むほとんどの公共施設が、カルトの儀式的な規定の細部に至るまで、自発的に服従している。過去も現在もクリスチャンは、時に霊的な規律として厳格な

体制に従ってきた。しかし、今も昔もそういう体制が選ばれるのだ。健康と科学の名のもとに、崇拜者がこのような制約や儀式を押し付けられたことは、ほとんど起こったことはない。しかし、さらに悪いことに、COVID主義の浄化の儀式は、社会全体に強制的（キーワード）に適用されている。教会にいてもいなくても、罪がなくてもあっても、誰もが潜在的に病気であると考えられている。現在、このウイルスは全身性と考えられていて、罪がかつてそうだったように、致命的のように捉えられている。罪の有無が、Covid-19の有無によって再定義されている。全ての人々が潜在的に感染しているか、感染させるかなのだ。社会全体は罪があり、汚染を避けるために設計された宗教的な儀式に従わなければならないのだ。」さがれ〜！そうやってお互いを見ているということですよ？「かつて不可視な霊界の実在性を信じ、聖霊による魂の癒しを切望していたクリスチャンたちは、世や肉や悪魔ではなく、ウイルスを追い払う儀式により、今、悔い改めなければならない。COVID主義という新しいカルトは、教会の権力的な精神性を奪うことを目的とした儀式を確立している。教会は、その本質の劇的な変化の現実ほとんど気がついていない。シャーマンの科学主義信頼性及び権威の誘惑・忍び寄りを許しているからだ。」少々お待ちください。皆さんも少し時間が必要かもしれません。これが今起きていることです。これが、入会の儀式時の手洗いに繋がります。画面は、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）のウェブサイトです。手を洗うよう言うだけでなく、非常に具体的に手の洗い方を教えています。「手の洗い方について。正しい方法で手を洗うための5つのステップ。」「正しい方法？」「そうです。」準備はいいですか？言いますよ。

ステップ1「1：温水または冷水のきれいな流水で手を濡らす。水道の蛇口を閉め、石鹸をつける。」わかりました！「2：手をこすって泡立てて洗う。手の甲、指と指の間、爪の隙間もこすって洗う。」わお〜！これは本当に細かいですね。「3：最低でも20秒間手をこする。」頼みますよ。これって6フィートのようなものですか？19秒じゃないのですか？20秒？うーん...うーん。。。うーんと唸ってしまいます。「4：きれいな流水の下で手をよくすすぐ。」「5：その手を、清潔なタオルで拭くか、風乾させる。」頼みますよ。本気ですか？私は5歳児ですか？皮肉をお許しください。聖化された皮肉だと、ご理解ください。公平に考えれば、これは表面上は取るに足らないことだと自覚しています。儀礼的なものがなく、儀式的な意味合いは一切ありません。しかし、これと全く同じように明確な方法で行われるカルト的儀式における手洗いは、かつて属していた、古いものを洗い流すことを表します。新しい秩序への清めと浄化を確立するためです。もう一歩踏み込んで、根底にあることを提案します。ピラトがしたように、イエスから手を洗うことです。マタイの福音書27章24節の記述をご存知ですね。理解する必要があります。中東文化では今でも、これが行われているのです。子どもの頃を思い出します。両親はいつも、このような表現を使いました。「このことから、手を洗う」と。つまり、「私は、このことに関して罪がない」という意味です。「私は、これから手を洗いました。」「私は何の関係もありません。」これがそういう意味なのです。イエスとは何の関係もありません。という意味。「まあ、牧師先生、それは無理があるのでは？」では最後までお聞きください。最後まで聞いてください。

#### マタイの福音書27章24節

「ピラトは、語ることが何の役にも立たず、かえって暴動になりそうなを見て、水を取り、群衆の目の前で手を洗って言った。...」

そしてこれが彼の言ったことです。引用します。

...「この人の血について私には責任がない。おまえたちが始末するがよい。」（マタイ 27：24）

おっと、ちょっと待ってください。私はこの人の血について責任があります。私はこの人の血潮から手を洗いたくはありません。この人の血潮には力があるのです。彼の血は、私の代わりに流されたのです。

（十字架）それから手を洗いたいと思うのでしょうか？ 私は無実ではありません。私は有罪です。

私は、罪深い、罪びとです。

「血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。」（ヘブル 9：22）

これは非常に儀式的で象徴的な方法で、公に行われました。これは、彼が昼食を食べた後に手を洗う必要があったからではありません。違います。彼はこの発言をするために実行した、公の場での象徴的な儀式でした。ある Youtube 動画お勧めしたいと思います。トゥルー・ストリーム・メディアによるものです。再度言いますが、全リンクはこの動画の概要欄にあります。タイトルは「入会の儀式の特徴」とてもよくできた動画で、今日見てきたことが本当に凝縮されていると思います。彼らの言っていることを、いくつかシェアさせてください。引用「入会の儀式によって人は『その道』へと導かれ、そして一員となる。新しい生き方、新しい世界観へと。信念と行動を導くためのプログラムで、入門者が、新社会の完全で真のメンバーになることを可能にする。儀式は必ずしも意識的な行動とは限らず、儀式に参加している全員が、自分が参加者であることを常に明確に認識しているわけではない。それでも、本人が意識しているかいないかに限らず、新しい思考パターンが教え込まれる。新メンバーとして、社会で正しく機能するために必要なものであり、この時点で、彼らは誘導され、吹き込まれている。呪文を頭に叩き込むのに有効であるため、繰り返されることが特徴的である。マスクの着用が要求される場合もある。仮面（マスク）は、このような儀式において、昔から重要な役割を果たしてきた。古いアイデンティティの死を促し、それを可能にするための自我の抑制においてである。その後、新しいアイデンティティが現れるのだ。そのプロセスが非常に協調的で洗練されている一方で、現実には、意図的に紛らわしい方法で実行されることがある。」これは本当に助かりました。何の意味もないと思いませんか？とても混乱して、何を信じていいのかわからなくなります。それは意図的です。故意的です。そして、理由がここにあります。引用します。「それは、目指すものが動き続けているように見せるためだ。行ったり来たり、上に下に、ここに、あそこに。

何かを論理的に理解するための確固とした精神的な根拠を見つけられなくするためである。。この方向感覚の喪失が鍵である。」なるほど。「不確定なタイミングが、一般的な不安を生み、入信者を現実から取り去り、条件反射的のように影響を受けやすくする。これが、ウイルスと同じように防御力を弱め、ただしこれは、ウイルスよりもはるかに完全に個人を破壊する可能性を持っている。全ての詳細に至るまで、今までの生き方が最後には古びた肌のように全て捨て去られる。」私の個人的な信念は、前述の全儀式に共通するものは、マインドコントロールという方法を使った心理的トラウマがあることです。なぜ人々が気が狂いそうになっているのか、納得がいきません。すべてが意図的で、すべて計画されたものです。全て台本通りに進んでいます。人々は、おかしくなっています。人々は気が狂いそうになっています。これは、マインドコントロールの典型です。そうすることで、それは一見、混沌からの秩序をもたしているように見え、知らず知らずのうちに、不本意のまま、大衆を新世界秩序への入会儀式に導いています。“Brave New World”(勇敢な新世界)では、(アルダス・ハクスリー著)“Covid-1984”が起り7年間の患難時代に、誰もが追跡され、監視・管理され、支配されます。

「しかし、神は。」しかし、神は、7年間の患難時代前に、教会を携挙されます。これで丸く収まります。だからこそ、今日、主が私にこの話をさせたのだと、本当に感じています。

なぜなら、これが全ての向かっている方向だからです私は、こう仰る方がいるかもしれないことを理解しています。「牧師先生、今回は本当に無茶なことをしましたね。」(Go off the deep end: 直訳は『プールの深い方に入る』)それはそうかもしれませんが、言わば、深いところの水はとてもいいのです。しかし、ここが要点です。もしこれが向かっている方向で、この速さで向かっているのならば、意味することはただ一つです。イエスが、彼の教会の為に来られることです。なぜなら、今これが起こっていて、7年間の患難時代にこれが起り、イエス・キリストの教会携挙が7年間の患難時代前に起こらなければならないのなら、私たちは一体どれほど『その時』に近いのでしょうか。描写を使わせていただきます。いつも失敗してしまうのですが、、感謝祭やクリスマスのようなものです。もうすぐですね。主のみこころであればですが。そう言うべきですね。私たちにはわかりません。なんとも…今年の感謝祭とクリスマスは一体どうなるのでしょうか？もし私たちがまだここにいるならですが。「主よ、今すぐ迎えに来てください。」しかし皆さん、クリスマスの看板を見て、今月、10月には、すでに

クリスマスの看板が出ています。そして、それは、「わあーもうすぐクリスマスですね。」という感じですか。そうです。しかしクリスマスの前に何が来るかご存知ですか？ 感謝祭です。感謝祭の方が先にくるのです。携挙は感謝祭です。クリスマスの前に来ます。そして、もし今の世界が既に兆候だらけで準備万端なら、それがクリスマスで、携挙が感謝祭なら？ 私たちは、いかに携挙に近づいているのでしょうか。私は、非常に、大変近いと信じています。誰もが想像しうる以上に。ですから、このアップデートをするのです。これが私たちが16年間、このアップデートを行っている理由です。計算しないでください。このアップデートを始めました時、私は5歳でした。イエス・キリストの福音で、締めくくるのもそれが理由です。また、「救いのABC」という方法で、救いの簡単な説明で締めくくるのです。ここ数ヶ月、私たちはオンラインメンバーの方から届く証を共有してきました。皆さんに、今日は1つ共有したいと思います。今日は、ハワイ島、カイルア・コナから、アリッサ・リースさんです。「アロハ、JD兄弟。私は、ハワイ島から書いています。夫と私が、あなたの”聖書預言・アップデート”を見始めたのは、2ヶ月前、ユタ州に住む、私の大好きな義妹がリンクを送ってくれたからです。あなたのことを、全く知りませんでした。」それでいいんです。私は、有名になるより、「彼は誰？」のままでいたいのです。「しかし、神は。（彼女は太文字にしています。）しかし、神は、あなたが私たちの人生に大きな影響を与えることをご存知でした。主は、ハワイの愛する人にあなたのメッセージを伝えるため、ユタ州に住む人を使って導かれました。主を褒め称えます。私たちがあなたの説教を見ているのは、決して偶然ではありません仕事で毎日、コナからヒロに通勤しています。そのおかげで、主との静かな時間がたくさん持っています。そして、2020年の全アップデートを聞く時間が与えられました。あなたの心に祝福を。お気の毒に思います（笑）。

そのうちのいくつかは、2回聴きました。なんということでしょう。主は、あなたのアップデート動画を家族と共有するように促してくださいました。国の政治や世界の政治に鋭く関わっているのに、主と共に歩んでいない人たちです。あなたのアップデートには、彼らを引き込ませるのに十分な世界的出来事が既に含まれていますが、更に彼らは、聖書がこんにち世界で起こっている全てのことの目的と計画を示していることを目撃しています。私の妹は、アップデートをととても楽しんでいました。彼女の人生において、神が働いて下さっていると信じています。最高の奇跡は、父も見ていることです。

そんなことになるとは、想像もしていませんでした。しかし、私は、アップデートが、少なくとも彼の心に種を植えたと信じています。信者である母も見えています。そして、あなたのメッセージによって祝福されています。上司にも、いくつか動画をシェアしました。そして、彼女はととても気に入っていました。（ほっとしました！）今日、神は、私がある従業員の証人になるという扉を開けてくださいました。「彼女が、私に言ってくれたのは、、、」注意してお聞きください。ここ数週間、この話をしていました。「彼女は私にこう言いました。『大変苦勞している。』と。」皆さん、お聞きください。人々は、大変苦勞しています。私たちは答えれる準備をしておくべきです。すべての人に、希望を与えるためです。彼らは、答えを探しているのです。私たちには、答えがあるのです。しかし私たちはそれを隠しているのです。升の下にしている明かりのように。光を人々の前に輝かしていないのです。（マタイ 5:15-16）

「彼女の周りで起こっている全てのことによって、彼女は苦勞していたのです。」「私は彼女に、メッセージのことを伝えました。今朝の通勤時に聴いた、”しかし、神は”のアップデートです。彼女に、リンクを共有しても構わないかと聞いてみました。彼女は「はい」と答えてくれました。主が収穫のために、これらすべての扉と機会を開けてくださっていることに、大変うれしく感謝しています。どうなるのかワクワクしています。とても感謝しています。ファラグ兄弟。あなたとあなたのご家族のため、そしてあなたの教会の家族のために祈っています。そして神の御国が更に広がりますように。キリストによって贖われた、アリッサ・リースより、カルア・コナから。」だからこそ、これをするのです。主を褒め称えます。（拍手）火曜日に祈禱会を行いました。共有したのは、、、ちなみに、まだ祈禱会にお越しになってない方は、、、愛情を込めて言いますが、本当に損なっています。その頭文

字をとって「FOMO」と言うそうです。ご存知ですか？ Fear Of Missing Out=見逃すことの恐怖 本当に見逃していますよ。それほど素敵な時間なのです。豊かな時間、フェローシップの時間、共に祈る時間。火曜日の夜、その場にいた方々に共有していました。この教会は、、、オアフ島 Winward 方面にあるこの教会は、、、誰が知っていたでしょうか。神はご存知でした。そして、神は、信者たちを集めて組み立てられたこの小さなフェローシップをお使いになっておられます。文字通り地球の隅々まで届くようにです。エルサレム、ユダ、サマリア、そしてハワイ島。そしてユタもです。ユタ州を忘れてはいけません。神がなさっていることの一部になれることは、とても壮大で栄光に満ちた特権、名誉なことです。そして、私たちはその一部なのです。主を褒め称えます。「救いのABC」とは？「救いのABC」は、子供にでも分かる救いの説明です。それは、なんとというか、しなければならない事ではなく…どう言えがいいのでしょうか…既に、、、私は機会平等違反者です。こんな感じで言わせてください。私にできるなら、あなたにもできる。私にできるなら、あなたにもできる。シンプルだからです。シンプルであるべきです。子供でも分かるシンプルさです。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3 章 10 節には、こう書かれています。

**「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3：10）**

私たちは皆、生まれながらにして罪びとです。だからこそ、私たちは新生しなければならないのです。ローマ人への手紙 3 章 23 節にはこう書かれています。

**「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3：23）**

私たち誰しもが、的を外したのです。これが実際、罪という意味です。アーチェリー用語です。あなたは矢を放ち、的を外してしまう。それは罪を犯したということです。的を外したからです。それが罪の意味です。私たちは皆、的を外してしまっていて、神の完全な義の基準を外し、栄光を受けられなくなっているのです。だから、誰しもが、起訴され有罪なのです。今、私たちは判決に入ります。全人類の裁判官がおられる永遠の法廷の中で、私たちは答弁をし、有罪を言い渡されます。そして裁判官は、評決を下します。その評決が何かご存知ですか？ 死刑宣告です。

**「罪が支払う報酬は死です。…」（ローマ 6：23a）**それは、悪い知らせです。神の法を破ったための罰則です。さて、ここで良い知らせです。良い知らせを意味する福音です。「あなたの負債は完済されました。自由に行っていいですよ。」その永遠の法廷の中に、ある方が入ってきます。普通の人ではありません。神の人、イエス・キリストです。彼は、全人類の裁判官にこう仰います。「お止め下さい。全て保留にしてください。」「私が、彼の/彼女の代わりに死に行きます。」裁判官は、「そうか。」という感じで、ハワイが地元の裁判官です。（笑）「おお！」「あなたの負債は返済された。あなたは自由の身です。」それが、イエスがして下さった事です。彼は、私たちの死の代価を支払ってくださいました。彼は、私たちが罪びとであり、当然の報いである死刑宣告を、代わりに受けてくださったのです。それが良い知らせ=福音です。イエスが来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられた。そして、いつかもうすぐ再び戻ってこられますそれが良い知らせ、福音です。次に、B。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9 節～10 節、

**「…心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）**

救われうる、救われるべき、救われるかもしれない、ではなく、”救われる” のです。なぜそれが確実なのでしょう？ 陪審員がいなくなった理由は？ なぜその評決が決まっているのでしょうか？ なぜなら、あの日、あの十字架の上で、イエスがこう仰ったからです「完了した。」ピリオド=完。終わったのです。完了したのです。何も付け加えることはできません。取り除けるものは何もありません。あなたにできることは何もありません。イエスがなされたからです。完結しました。そして、ここ

でもう一つ。もしかしたらこれは、ここに来ておられるどなたか、あるいはオンラインでご覧の方のどなたに向けてです。宗教とは、人間が神のために何をするかということです。それは忘れてください。忘れてください。私たちが、神のために何をするかではなく、イエスが既に、私たちのためにしてくださったことなのです。終わったのです。... (拍手) ...

最後にC。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9 節～10 節、

**「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10 : 9)**

その理由はここに 있습니다。

**「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10 : 10)**

そして最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。

**『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』(ローマ 10 : 13)**

再度「...救われる」のです。それは私には、38、39年前のことでした。繰り返しますが、計算してはいけません。当時、私は3歳だったと思います。38年前、私が主のお名前を呼び求め、心で信じ、口で告白し、罪の赦しの為に、主を信頼したのです。翌朝、目が覚めました。絶対忘れられませんまるで、昨日のことのようです。これで終わりますので。私は、アル中で麻薬中毒でした。あらゆる依存症ばかりの人生でした。たばこお酒なしでは、一日を始めることができませんでした。それと、、、何だったか忘れてしまいましたが、それはいいことでしょう。翌朝、目が覚めて、ビールに手を伸ばしました。朝飯にしては、気持ち悪いですね。勝利者が食べる朝食ではありませんね。失われた者の朝食です。そして私のタバコ中毒。聖霊が私の中に宿っていて、内住されていて、小さな声で、仰ったのです。「あなたには、もう必要ありません。」「何ですって??」自分の意志の力で、何年も止めようとしてきました。「あなたには、もう必要ありません。」人それぞれだと思いますが、しかし、主は、そういう物への欲求を完全に取除いてくださいました。私は、決して振り返りませんでした。それが、38年前の話です。それが、イエス・キリストの血潮の力です。(拍手)ご起立ください。私は、ただ懇願したいです。「最後に」と言いましたっけ?これが最後の最後です。いいですか?言い方には気をつけたいです。どうか勘違いしないで頂きたいのは、私は膨大な時間を費やします。賛美チームはもう準備してもらって構いません。その間私が延々と延々と話しますから...私は膨大な時間を費やします。一回のアップデートの準備をするためだけでなく、それについて祈るためです。私がそれを共有する理由は無駄にならないことを知っているからです。

**なぜなら、神の言葉は無駄に終わらないからです。(イザヤ 55 : 11 参照)**

そして、今日共有したもののように、私が何かを共有するとき、、、神は、聖霊によってそれを使われ、神にしかお出来にならない方法で、あなたを導かれます。今朝ここにおられる方かもしれません。あなたは、主のもとに戻ってくる必要があります。皮肉的に言えば、あなたは、主と一定距離を保ってしまっているのです。主との間に距離が出来てしまっています。この危機を神に感謝します。大勢の人が主のもとに戻ってきたのです。大量の方々が、主の下に来られました。このことによってです。これがなければ、来なかったかもしれません。今日がその日です。誰に仕えるのか、今日、選んでください。ご自分の意思で、それは、あなたの選択です。神は決して、ご自身を押し付けることはありません。そんな方ではありません。彼は、あなたにこれを差し出されています。信じて受け取るかは、あなた次第です。それだけです。今日を、先延ばしにされませんように。永遠のいのちのため、人生で最も大事な決断を。祈りましょう。

天の父よ、感謝します。本当にありがとうございます。聖書預言に感謝します。終わりの時に、それが起こる前に、世界の様子を教えていただきありがとうございます。だからこそ、それが起こり始めると、私たちは、点と点を繋ぐことができます。実際起こり始めています。そして、私たちの贖いが近づいていることを 知ることができます。主よ、ここに来られている方、または オンラインでご覧

の方であなたに信頼を置いたことがなく、あなたを呼び求めたことがなく、心で信じたことがない方にとって、今日こそが救いの日になるよう祈ります。イエスの御名に祈ります。アーメン

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7